

生ごみ処理容器の上手な使い方

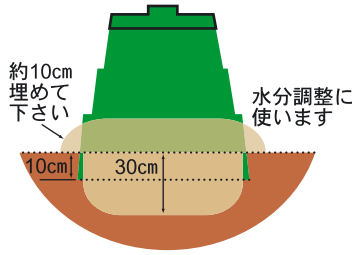
コンポスト容器で生ごみの減量・資源化をしましょう。

コンポスト容器の利用方法

① 容器の設置場所

日当たりや水はけの良い土の上に容器を設置します。

まず約三〇センチ土を掘り、容器を一〇センチ程度地中に埋め、固定します。残った土は容器の周りに盛っておきます。



② 生ごみを投入する

台所から出る生ごみはよく水を切り細かく切ってから、落葉や雑草は乾燥させてから投入します。

水分が多いと容器内で生ごみが腐敗し、悪臭や虫が湧く原因になります。

『投入できるもの』

- ・生ごみ・残飯・魚の骨・卵の殻
- ・茶から・落葉・雑草など

『投入できないもの』

- ・貝がら・油・プラスチック
- ・ビニール・タバコの吸がら・紙類
- ・いちよりの枝葉・松葉など

③ 発酵の調整

生ごみを投入したら、容器の周りに盛っておいた土をかぶせます。

生ごみと土を交互に投入していき、月に一〜三回程度は中身をかき回し、空気を送り込みます。

米ぬかや市販の調整剤を入れると、発酵を促進させることが出来ます。

容器内に水分が多くなってしまうときは、乾いた土を多めに入れたり、フタを空けて風と日光を入れてください。(入口に細かい網をかぶせるなどして、虫を防いでください。)

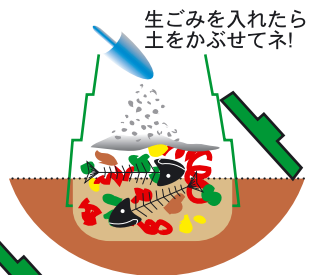


④ 堆肥の完成

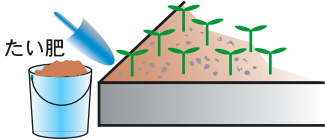
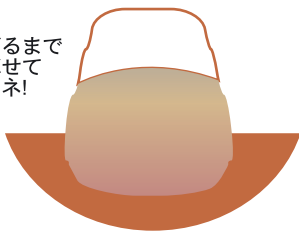
②、③の行程を繰り返して、黒く堆肥化している部分から使用します。

堆肥化までの期間は、季節や内容物にもよりますが、おおよそ二ヶ月程度です。

中身がいっぱいになったら容器を取り外し、堆肥化していない部分については容器の中に再投入してください。



できるだけ土をかぶせてね!



〈害虫の駆除方法〉

容器内に虫が発生した場合には、石灰窒素か消石灰を大きじ三〜四杯ふりかけてください。

石灰窒素や消石灰は園芸店やコンポストの販売店で売っています。(注意書きをよく読んで使用してください。)

農薬や殺虫剤は、有用な微生物が死滅しますので使用しないでください。

伊東市からの購入補助

【コンポスト容器】

購入費の1/2
限度額 4千円 1世帯2台まで

【電動式生ごみ処理機】

購入費の1/2
限度額 3万円 1世帯1台まで

- ①伊東市に住民登録のある方
- ②市内の販売店で購入できる方
- ③堆肥を自己処理できる方
- ④市税の滞納のない方
- ⑤補助を受けるとその後五年間は補助を受けられません。
- ⑥購入前に事前の申請が必要です。

お問い合わせ先

伊東市役所 環境課

☎32-1374